



げやきっ子

令和4年3月22日
六栄小学校だより
第21号
校長 下田 真壽

令和3年度スローガン 「子どもたちに寄り添う『チーム六栄』」

令和3年度 お世話になりました

新型コロナウイルス感染防止対策での制限が多い中、244名の子どもたちは笑顔をおぼれることなく毎日本当によく頑張ってくれました。

感染防止対策のため、担任の先生方の指導にストップをかけざるを得ないことも数多く、仕方がないことではありながら申し訳ない気持ちでいっぱいです。

そんな中でも、子どもたちのひたむきに頑張る姿、笑顔に私自身何度も何度も元気をもらいました。感謝の気持ちしかありません。

保護者の皆様には、この状況の中での学校の教育活動に対して十分すぎるほどのご理解とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。特に、島川PTA会長をはじめとした四役の皆様、各委員長の皆様お世話になりました。

地域の皆様には、学校応援団として六栄小学校を支えていただきました。ありがとうございました。

明日の修了式に続き、明後日はいよいよ卒業式です。40名の卒業生は六栄小のリーダーとして下級生のことを考えながら毎日過ごしてくれました。

卒業式も感染防止対策のため、職員、教育委員、保護者（各家庭2名）、5年生児童のみでお祝いします。これを読んだ皆様にも、心の中で祝福していただくと幸いです。

3月11日を迎えて

2011年3月11日は金曜日でした。当時担任をしていた私は、放課後職員室でみたニュース速報の映像をおぼれることができません。翌土曜日に予定していた部活動の練習試合を延期にしたことを覚えています。

熊本地震を経験し、益城町の小学校に教頭として勤務した私は、防災教育の重要性を改めて感じました。毎年この時期に学校では、地震発生時の対応をはじめとした各危機管理マニュアルを見直しを行っています。

六栄小は、3月11日が13:20下校だったため、1時間目の8:33に全員で黙とうを行いました。

背筋を伸ばして姿勢よく黙とうする1年生。放送が始まったため、廊下に立ち止まり黙とうする6年生。子どもたち一人一人の思いを私たち大人は大切にしていきたいものです。

